



## 株主メモ

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- **定時株主総会** 基準日 毎年3月31日  
開催日 毎年6月中
- **剰余金の配当** 期末配当基準日 3月31日  
中間配当基準日 9月30日
- **単元株式数** 100株
- **公告方法** 電子公告（事故その他やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載）  
<http://tpr.co.jp/>
- **株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- **特別口座の口座管理機関** みずほ信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- **お問い合わせ先**

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先	お取引の証券会社等	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り 方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットアース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。	

- ホームページアドレス <http://tpr.co.jp/>

## 「復興特別所得税」についてのご案内

2011年12月2日に「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(2011年法律第117号)」が公布されました。これに伴い、所得税全体を対象として、2013年1月から2037年12月までの25年間、基準所得税額に対し2.1%の「復興特別所得税」が課税されることになりましたので、ご案内申し上げます。

なお、上場株式等の配当等に関する具体的な税率は、下表をご参照願います。

復興特別所得税を加算した 上場株式等の配当等に係る税金		～2012年	2013年	2014年～2037年	2038年～
【従来】			25年間基準所得税額に対し、 2.1%の付加税が上乗せされます		
上場株式等の配当等に係る 税金と税率	所得税	7%	7.147%	15.315%	15%
	住民税	3%	3%	5%	5%
合 計		10%	10.147%	20.315%	20%
		【軽減税率】	【軽減税率】	【軽減税率】	

2013年1月以降の  
所得税率の計算方法

2013年1月～2013年12月 ⇒ 7% + 7% × 2.1% = **7.147%**  
2014年1月～2037年12月 ⇒ 15% + 15% × 2.1% = **15.315%**

※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。  
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますので、ご注意ください。

※詳細につきましては、所轄の税務署にお問い合わせください。

## TPR株式会社



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



# TPR

# Change & Create

## 第82期 中間報告書

2014.04.01 - 2014.09.30

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配とご支援を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

弊社第82期第2四半期累計期間が終了しましたので、概況につきご報告申し上げます。

### 今年も既往最高の増収増益決算となりました。

当第2四半期累計期間は、国内においては、第1四半期の消費税アップによる実質GDPマイナス年率7.1パーセントの落ち込みを、後半徐々に回復出来る見込みではありますが、その足取りは弱めに推移いたしております。また、海外においてもアメリカは好調であったものの、中国の減速やアセアンの不振で、先行き不透明感が漂いつつあります。弊社が属します自動車業界は、アメリカにおける高採算車種の売れ行き好調や円安効果の後押しにより、最高益のメーカーが多く輩出いたしました。ただし、国内販売は当初の予想よりも低迷を余儀なくされそうです。

そうしたなかで、弊社におきましては円安効果にくわえ、新拠点の生産増、新興国の売上増などにより、前年を上回る生産、売上が達成することが出来ました。その結果第82期第2四半期累計期間業績につきましては大幅に増進し、前年同期比売上高10.4パーセント増、経常利益53.1パーセント増、純利益83.2パーセント増と、既往最高の実績を実現することが出来ました。

### 配当金を大幅に修正し年間配当を40円にいたします。

これにより、中間配当につきましては、1株当たり18円（昨年度は13円、期初予定15円）とさらに3円増配させていただきたいと存じます。

なお、今期の期末配当といたしましては75周年記念配当4円を含めて1株当たり22円（昨年度は13円、期初予定記念配当2円を含めて17円）を予定しております。これにより年間配当は40円になります。

### 今年も創業75周年。純利益100億円達成に向けて邁進いたします。

弊社は、12月3日に創業75周年を迎えます。また、2014年度は現在取り組んでおります14中期計画の最終年度です。今下期につきましては、自動車業界は弱含みではありますが、弊社は労働生産性を一層高めて増益基調を確かなものにし、長期的視点で世界6極に展開済のエンジン関連事業の競争力を一層強化してまいります。さらに、ファルテックを始めとした新規分野各社による多角化の効果を最大限に発揮することにより、今年度の業績予想で発表のとおり、純利益100億円と弊社史上初めての3桁の利益を達成し、創業75周年にふさわしい年にしたいと思っております。

今後とも皆様の変わらぬご支援、ご理解をお願い申し上げます。



代表取締役会長兼CEO  
平出 功

## 第2四半期連結決算ハイライト

■ 売上高	780億3千6百万円
■ 営業利益	90億8千4百万円
■ 経常利益	110億8千6百万円
■ 四半期純利益	63億2百万円

## 2015年3月期通期連結業績予想

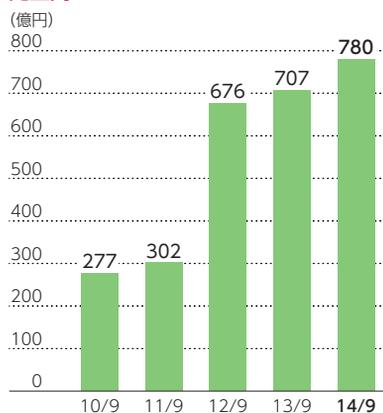
■ 売上高	1,620億円
■ 営業利益	187億円
■ 経常利益	212億円
■ 当期純利益	109億円

## 業績の概況

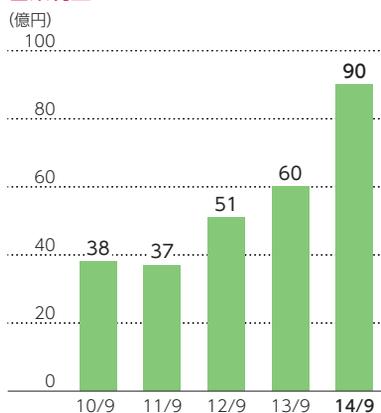
当第2四半期連結累計期間を取り巻く経済環境は、日本においては消費税増税の駆け込み需要の反動減により消費が落ち込んだものの、その影響は和らぎ、緩やかな景気回復が見込まれております。一方、加速する円安及び原油高による原材料価格の上昇やエネルギー費の上昇により、コスト面では厳しい状況で推移しました。海外においては、長期化している欧州での債務問題、中国を始め新興国の経済成長の鈍化により、先行きに不透明感が残る状況で推移してまいりました。

当社グループが主として関連する自動車業界におきましては、国内では消費税増税の駆け込み需要の反動減、生産の海外シフトの推進により、引き続き厳しい状況で推移しました。海外においてもアジア地域での政情不安が懸念される中、当社グループは成長市場での受注増加により売上高の拡大を図り、継続的な原価低減活動を推進してまいりました結果、前年同期比増収、増益となりました。

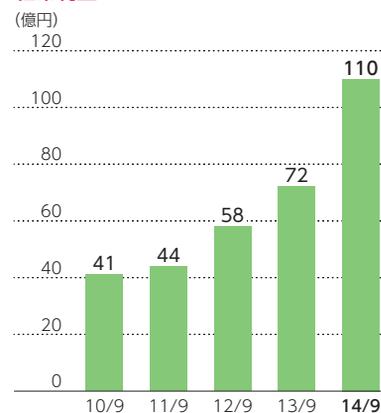
### 売上高



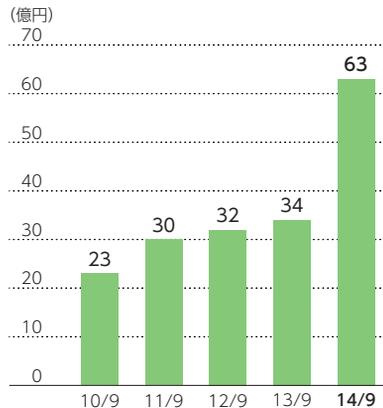
### 営業利益



### 経常利益



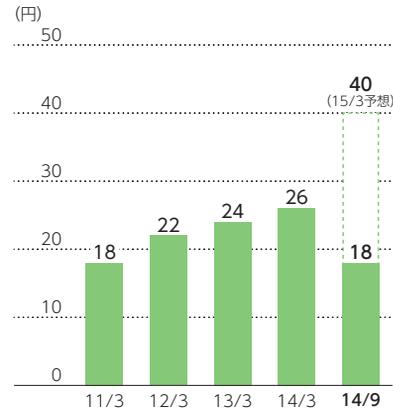
### 四半期純利益



### 自己資本比率



### 1株当たり配当金



※ ( ) 内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

# セグメント情報

## セグメント業績

売上高構成比率

(当第2四半期連結累計期間)

日本

アジア

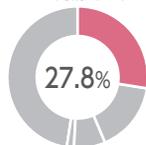
北米

その他地域

ファルテックグループ

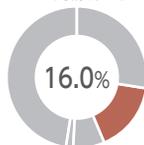
T P R グループ (ファルテックグループを除く)

売上高構成比率



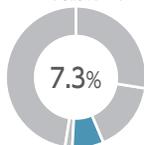
消費税増税の駆け込み需要の反動減により一時的に落ち込んだものの、外需に支えられた結果、売上高は216億68百万円と前年同期に比べ9億29百万円の増収となりました。セグメント利益は35億22百万円と前年同期に比べ6億70百万円の増益となりました。

売上高構成比率



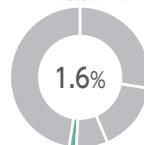
アジア市場では市場が鈍化する中、中国での旺盛な受注及び新拠点の生産本格化により、売上高は124億67百万円と前年同期と比べ33億25百万円の増収となりました。セグメント利益は37億37百万円と前年同期と比べ15億38百万円の増益となりました。

売上高構成比率



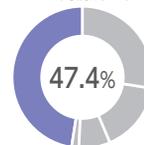
北米経済が堅調を維持する中、売上高は57億31百万円と前年同期と比べ12億97百万円の増収となりました。セグメント利益は2億82百万円と、新拠点の立ち上げ費用の縮小効果により黒転し、前年同期と比べ3億93百万円の増益となりました。

売上高構成比率



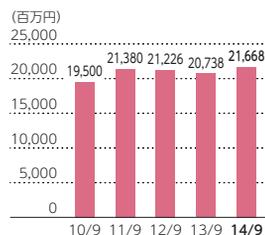
欧州市場は緩やかに回復する中、受注に支えられ、売上高は12億14百万円と前年同期と比べ2億18百万円の増収となりました。セグメント利益は3億77百万円と前年同期と比べ1億82百万円の増益となりました。

売上高構成比率



ファルテックグループでは、中国子会社の増収効果及び新規連結効果等により売上高は369億54百万円と前年同期と比べ15億59百万円の増収となりました。セグメント利益は10億74百万円と前年同期と比べ1億32百万円の増益となりました。

### 売上高



### 営業利益



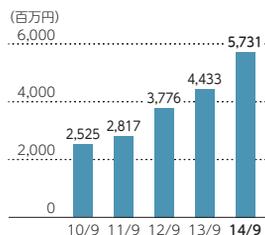
### 売上高



### 営業利益



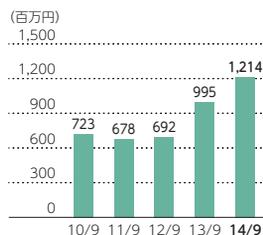
### 売上高



### 営業利益



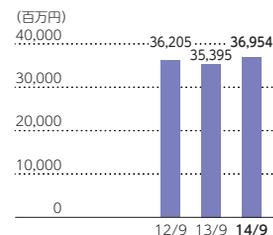
### 売上高



### 営業利益



### 売上高



### 営業利益



# 連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期末 (2014.9.30現在)	前期末 (2014.3.31現在)
資産の部		
流動資産	78,453	75,709
固定資産	99,925	99,284
有形固定資産	55,277	54,139
無形固定資産	3,468	3,928
投資その他の資産	41,179	41,216
資産合計	<b>178,379</b>	<b>174,994</b>
負債の部		
流動負債	60,909	58,574
固定負債	38,173	40,545
負債合計	<b>99,082</b>	<b>99,120</b>
純資産の部		
株主資本	49,094	43,858
その他の包括利益累計額	13,870	16,689
新株予約権	46	39
少数株主持分	16,285	15,286
純資産合計	<b>79,296</b>	<b>75,873</b>
負債純資産合計	<b>178,379</b>	<b>174,994</b>

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、47億35百万円（前年同期比17.4%減）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が109億56百万円（同59.2%増）、減価償却費が40億8百万円、主な資金の減少は、売上債権の増加額が27億64百万円、法人税等の支払額が38億27百万円等によるものであります。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、57億31百万円（同10.8%増）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出が50億83百万円、長期借入れによる収入による支出が9億64百万円等によるものであります。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、8億14百万円（同219.5%増）となりました。これは主に短期借入金の純増減額による収入が19億83百万円、長期借入れによる収入が21億17百万円及び返済による支出が38億74百万円等によるものであります。

## ■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2014.4.1～ 2014.9.30)	前第2四半期 (2013.4.1～ 2013.9.30)
売上高	78,036	70,705
売上原価	57,493	54,067
売上総利益	20,542	16,638
販売費及び一般管理費	11,458	10,585
営業利益	<b>9,084</b>	<b>6,052</b>
営業外収益	2,419	1,634
営業外費用	416	442
経常利益	<b>11,086</b>	<b>7,243</b>
特別利益	85	—
特別損失	216	363
税金等調整前四半期純利益	10,956	6,880
法人税等	2,864	2,233
少数株主損益調整前四半期純利益	8,091	4,647
少数株主利益	1,788	1,206
四半期純利益	<b>6,302</b>	<b>3,441</b>

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2014.4.1～ 2014.9.30)	前第2四半期 (2013.4.1～ 2013.9.30)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,735	5,730
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,731	△ 5,174
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 814	△ 254
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 296	647
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,107	949
現金及び現金同等物の期首残高	19,764	16,729
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	121	489
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,778	18,168

## ダイハツ工業より3年連続「品質優秀賞」受賞

5月27日に「2014年度ダイハツサプライヤークラブ定期総会」が帝国ホテル大阪で開催され、TPRは3年連続で「品質優秀賞」を受賞しました。

同賞は、ダイハツ工業の品質表彰として大変栄誉ある賞で全サプライヤー中15社のみの受賞となっています。受賞式には山岡社長が出席し、ダイハツ工業三井社長より表彰状と記念の盾が授与されました。



## 三菱重工業より「優良賞」受賞

4月24日に「平成25年度取引先表彰式」が仕入先82社により開催され、TPRが「優良賞」を受賞しました。

この賞は、TPRが所属するエンジン・ターボ部品部会（18社）の中で、技術・価格・品質・納期企業評価としてトップの成績であったため受賞したものです（優良賞は5社受賞）。表彰式には、小松常務が出席し、三菱重工業執行役員副ドメイン長の小池調達部長から、記念の盾が授与されました。



## TPR ベトナム (TPRV) 第三工場開所式

9月9日、快晴のもとTPRV第三工場の開所式が行われました。

式典には、地元政府幹部を始め多くの皆様へ出席頂き、TPRVの今後の発展を祈願した後テープカット、工場見学等を行いました。

第三工場は、敷地面積3,820㎡と規模は大きくありませんが、焼結製品拡大を目的に、素材から製造できる一貫現調工場としてアセアン地区での製造拠点となります。



## TPR ブラジル (TPRBR) 起工式

7月20日、ブラジルサンパウロ州ポルトフェリス市の工場建設予定地において、エンジン部品を製造するTPR新工場の起工式を実施しました。TPRの海外拠点では中南米初の工場となり、建築面積5,000㎡で2015年の生産開始を予定しています。

セレモニーは、司祭の祝福で始まり、シンボリックな起工の儀式の後、タイムカプセルの中にコイン、新聞、設計図を入れ、鉄の箱の中に収められました。同市の地方局ですが、テレビにも放映されました。



## 会社概要

- 社 名 TPR株式会社
- 所在地等 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内一丁目6番2号  
新丸の内センタービル  
TEL：03-5293-2811（大代表）  
FAX：03-5293-2824  
URL：http://tpr.co.jp
- 資本金 45億37百万円
- 設 立 1939年12月3日
- 従 業 員 750名

## 株式情報

### 株式の状況

発行可能株式数	<b>135,000,000</b> 株
発行済株式数	<b>35,899,099</b> 株
株主数	<b>5,556</b> 名
上記のうち議決権を有する株主数	<b>4,843</b> 名

### 大株主（上位10名）

株主名	所有株数 (株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	<b>2,395,000</b>	<b>6.78</b>
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	<b>2,293,000</b>	<b>6.49</b>
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	<b>2,176,700</b>	<b>6.16</b>
トヨタ自動車株式会社	<b>2,070,600</b>	<b>5.86</b>
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	<b>1,779,100</b>	<b>5.04</b>
株式会社みずほ銀行	<b>1,518,800</b>	<b>4.30</b>
ヒューリック株式会社	<b>1,231,812</b>	<b>3.49</b>
THE CHASE MANHATTAN BANK,N.A.LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	<b>1,195,300</b>	<b>3.38</b>
T P R 取引先持株会	<b>1,001,700</b>	<b>2.83</b>
東京建物株式会社	<b>933,687</b>	<b>2.64</b>

(注) 持株比率は、自己株式（617,435株）を控除して計算しています。（小数点第3位以下切捨て）

## お知らせ

### 単元未満株式の買取制度について

単元未満株式（100株に満たない当社株式）を当社が買い取る【買取制度】がございます。

詳しくは、みずほ信託銀行（0120-288-324）にお問い合わせください。

### 配当金の確定申告について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。